ナイス福岡 会報
自然感 くすのき
2020年08月
第301号

コロナ禍における自然観察会の手引き（ガイドライン）　公益財団法人日本自然保護協会から２０２０年８月３日に発行
以下、要約
はじめに、この内容を参考に活動に役立ててもらいたい。社会状況に応じて改訂し、会報「自然保護」、メールマガジン「しどういん徒然草」などでお知らせする。

1.　自然観察会における感染予防対策の基本的な考え方
(1) 感染予防対策はリスクマネジメントの一環です　　感染リスクの高いプログラムの回避など
(2) 参加者とスタッフにはリスクの存在を事前に伝える
(3) スタッフはコロナの感染経路を理解しておく　　飛沫感染と接触感染がある。社会的距離、マスクの着用など

2.　感染予防対策と運営の工夫　　各地域の状況に合わせて対策を講じる
(1) 小さな観察会のすすめ　少ない人数による自然観察会の勧め
(2) 観察会の準備段階での対策
① 緊急事態宣言が出ている地域、自粛要請の内容に活動が該当する地域では、観察会は中止。
② スタッフの下見・打ち合わせの時、密接・密集を避ける。
③ 観察会当日に参加者が密集しないように、自然観察の題材にできる対象物をたくさん準備。
④ 手洗いできる場所の確認
(3) 参加募集段階の対策
① 参加者全員の氏名と連絡先を把握
② 緊急事態宣言が出ている地域からの参加は、断る。
③ 体調に異常を感じる方には、参加を断る。
④ コロナの感染リスクと、プログラムの中止・変更の可能性を事前に告知しておく。
(4) 観察会中の対策
① 説明時は、十分な距離を確保し、マスクの着用。夏季は熱中症対策も配慮。
② 観察時、１m以上の距離をとる。
③ 観察道具の共有や、同じ自然物を触るなどは、避ける。
④ マスクを着けていては難しい観察、頬や唇の感覚を生かした観察、匂いを嗅ぐ、味わう、自然の風を吸い込むような場合は、参加者間の距離を保つ。
⑤ 終了後に手洗い・消毒を徹底し、それまでは手で口や目を触らない。
(5) 開催後の対策
① 開催後１週間以内（状況によっては２週間）に体調に異変があれば報告してもらう。（　）は田村が追記
② 参加者やスタッフにコロナへの感染が判明した場合は、保健所に報告し、指導された対応をとる。

3.　参考文献およびウェブサイトへのリンク　**p５の下段へ続く**

お問合せ：　福岡県自然観察指導員連絡協議会
（NAIS Fukuoka：The Nature Interpreter Society of Fukuoka）
代表：田村耕作／事務局長：小野 仁
編集：田村耕作･山本勝･松永紀代子／会計：宮原俊彦
〒814-0113　福岡市城南区田島３丁目７番14号
田村の自宅内　TEL　：092-844 - 4381
URL：http://www.kurabird.com/

掲示板 URL: http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会（111 回）は
☆日時　８月１５日（土）です。
コロナウイルスの拡散が収まりません。防止のための用心しつつ再び開催します。
公園の駐車場もすべて従来通り利用できます。

【連絡先】　担当：田村　耕作
TEL 090－8220－6160〔田村の携帯〕

注意　各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大状況により、下記の予定も変更になることがあります。
詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部　主催

※一般参加費：300 円（中学生以下無料）

しばらくお休みです。
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時　間：8:00～11:00（夏時間）
集　合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

８月２３日（日）９月２７日（日）
久末ダム探鳥会（福間町）
時　間：8:00～11:00（夏時間）
集　合：久末ダム多目的広場横
駐車場　（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

８月２日（日）９月６日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時　間：8:00～11：00（夏時間）
集　合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

しばらくお休みです。
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時　間：9:00～12:00
集　合：ボート乗り場前
問合せ：092-573-1827（森健児）

しばらくお休みです。
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時　間：9:00～12:00
集　合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

８月４日（火）９月１日（火）
県営春日公園（春日市）
時　間：10:00～12:00
集　合：音楽堂ステージ側（第５Ｐ）
問合せ：092-592-3423（小野仁）

日本野鳥の会 筑後支部

問合せ：090-7159-3933（松富士）
詳しくは HP を御覧ください。

福岡植物友の会

問合せ：佃　昇（092-662-2983）
要予約　参加は有料

コナラ横枝のヤモリ・三国　松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/

９月５日（土）
集　合：九州歴史資料館駐車場
時　間：9:30～12:00（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200 円

ブログ　「三国丘陵の自然を楽しむ会」で
検索
観察会や様々な生きもの情報を載せています

三国丘陵の自然を楽しむ会　観察の様子

クロアシボソノボリリュウタケ・三国　松永

和白干潟を守る会　主催

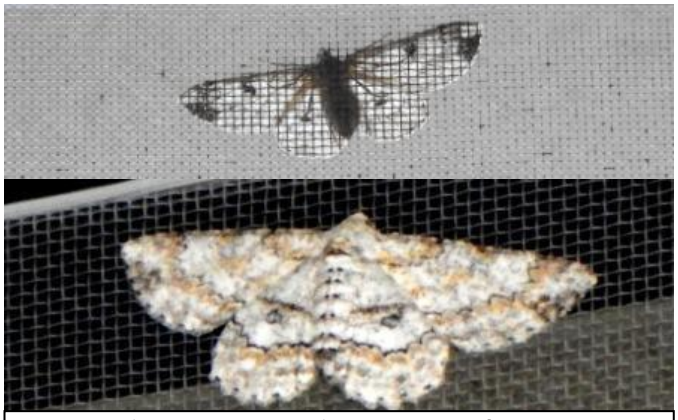
８／２２（土）
定例会議
時　間：12：00～14：00
集　合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

８／２２（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時　間：15：00～17：00
集　合：海の広場　駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

２０２０年７月
私のデジカメ日誌より
本のむし

今回は、７月１日（旧暦５月１１日）～７月３１日（旧暦６月１１日）までのデジカメ日誌です。

7月2日（旧暦5月12日） 筑紫野市天拝坂
妖怪とはこんなものか。いきなり出会うとギョッとするが、又会ったねと思わず笑ってしまう可愛さがある。アケビコノハの中齢である。身体の中ほどにある大きな目玉模様の処から、頭を内側にたたんで大きなお尻に見せ、一番後ろの足を宙に浮かせて、まるで頭はこっちだよ！というように擬態している。

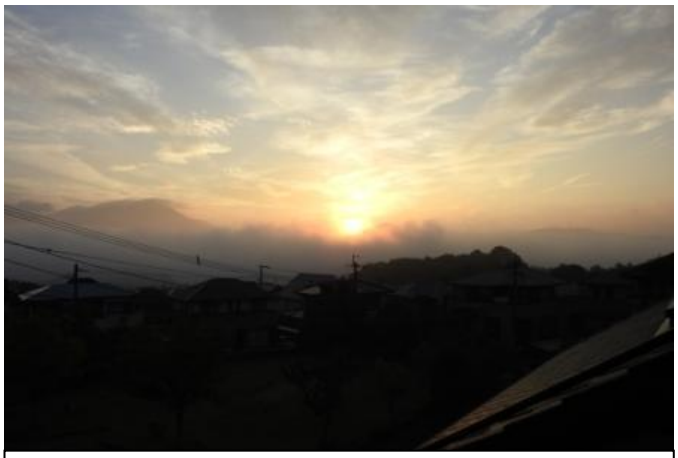


7月12日（旧暦閏5月22日） 筑紫野市天拝坂
窓の網戸にチョウがいる？ 羽を広げて止まっているし、何か変。家の外から撮ったら、ガの仲間。似た種があったが、前翅裏側の先端部に淡白色の紋があることから、オオバナミガタエダシャクだと思うが、後翅表の眼に見える所の白い点は、ウスバミスジエダシャクにも見える。？？

7月22日（旧暦6月2日） 筑紫野市武蔵寺
アオバズクの森の林床を、オオモンクロベッコウがヤマオニグモをせっせと運んでいる。かなり重そうだ。これから穴を掘り、幼虫の餌になるこのクモに産卵をするのだろう。

7月10日（旧暦閏5月20日） 筑紫野市天拝坂
解りにくいが、雨上がりのフヨウの蕾にジャノメチョウが羽を広げてじーっとしている。そして右側の花陰には、ハラビロカマキリの幼虫がそれを見ている。結局何も起こらなかったが、羽を広げていたのは、何だったのか。雨に濡れた羽を乾かしていたのか。とにかく今年は雨が多い。

7月21日（旧暦6月1日） 筑紫野市天拝坂
今年生まれのモズの幼鳥である。雨が多く、時折我が家の庭で休んでいく。今年は庭にアオゲラもやって来て、枝から幹又次とせわしない。よほど餌に困っているのか・・・



7月31日（旧暦6月11日） 筑紫野市天拝坂
前日に長かった梅雨が明けた。日の出の時、二日市地狭帯は、濃い霧に包まれていた。この後、猛暑になるという。
私は今月の中旬に、血圧が急降下をして、目が回り視界が定まらない状態になった。熱中症だ。家内が経口補水液を買いに走ってくれて、何とか生きている。皆さんもご注意ください。

くすのき 2020年8月号投稿原稿-本のむし
Nais-fukuoka 福岡県自然観察指導員連絡協議会

会員からの投稿

ようやく梅雨があけそうです。今日は久しぶりに晴れ間が出たので福津市の海岸へ行ってみました。**ハマゴウ**がたくさん咲いてました。干潟には**ハマボウ**が。浜に出る途中に**ママコナ**が。一度消えていたのに復活したようで、宗像植物友の会の方が見つけられました。同じエリアには**クルマバアカネ**もたくさん。いよいよ夏が来たという感じがしました。

渋田和美　　撮影は 7/25

ママコナ➡

ハマボウ

ハマゴウ

クルマバアカネ

春日公園自然観察会　報告

令和２年７月 18 日（土）**【参加者数】5 人**

コロナウイルスの拡散防止対策に、配慮しつつ、園内を散策しました。（報告と写真/田村耕作）

観察コース

自然あそび館～菖蒲池～カスケード～噴水広場～展示広場～自然風庭園～自然あそび館

観察内容

① 植物　アメリカスズメノヒエ、メヒシバ、ブタナ、タチスズメノヒエ、ネジバナの種（たね）
　　タブノキ、シナサワグルミ、カツラ、ガマの仲間３種、サンゴジュ、サルスベリ、

② 野鳥　カワセミ、キジバト、リュウキュウサンショウクイ、ムクドリ、スズメ、シジュウカラ、アオサギ、ダイサギ、ササゴイ、ハクセキレイ、メジロ、カワラヒワ、ヒヨドリ、ツバメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、アヒル、カワラバト

③ その他の生きもの
　アオスジアゲハ（卵・幼虫・成虫）、ベニシジミ、ベニトンボ、ショウジョウトンボ、コシアキトンボ、ギンヤンマ
　クマゼミ（声）、チョウトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ウスバキトンボ

観察会風景

感想

・ヒエの仲間、トンボの仲間をいろいろ観察できて、楽しかった。
・アオスジアゲハの産卵、卵、幼虫、成虫を観察できて、満足。
・カツラの落ち葉、甘い香りが良かった。落ち葉がなぜ、こんな香りがするのかが疑問だ。
・蜘蛛の糸をじっくり観察したことが印象に残っている。

アオスジアゲハの卵／タブノキの新芽

アオスジアゲハ幼虫

ベニトンボの暑さ対策

☆しぜんごと☆　＜2020.8＞

あの大変な長雨が始まる直前の頃の出来事ですが、またもやチョウの羽化のお話。

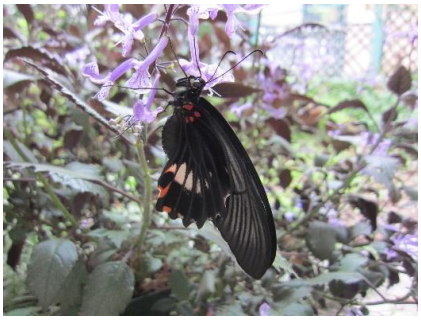
６月２３日の朝、隣の家の塀になにやら黒っぽいものが。よく見ると蛹のようですがとても大きく４～５㎝くらいあり、色はまだらで、チョウらしからぬ感じがしました。写真を撮ったり調べたりしたところナガサキアゲハ？
それにしても、こんな道端で大丈夫かと思いながら、取り敢えず見守ることにしました。

案の定、６月３０日の夕方、体を支えている上の方の糸が切れて、ぶら下がっていました。これはまずいと思い保護することに。以前、アゲハの蛹を糸で支えて、無事羽化させたことがあったので、また、やってみることにしました。

それで、蛹を塀から外そうとしたところ、“シュッシュッ、シュッシュッ”と音を立てながら下半分を、くねくね動かすのです。その動きは、かなり力強くてびっくりしました。しかも、ちょっと引っ張ったくらいでは外れません。しょうがないのでカッターを持ってきて、切るというよりは、こそげ取るといった感じで、本体を傷つけないように気をつけながら、力ずくで外しました。手に持つと、相変わらず“シュッシュッ”とやるのですが、体自体は結構固くて丈夫にできているようでした。また、持っている手がザラザラしてきました。粉でもついているのでしょうか。兎に角よく動くので、セッティングに苦労しましたが、何とか写真のようにつりさげる事が出来ました。

それから２日目の夜、何となく色が変わってきたように思いました。そろそろかもと思っていたら７月３日の朝、目が覚めて見ると、すでに羽化していました。翅がほぼ伸びたところで、そっと割りばしに移ってもらい、外だけど雨の当たらない場所に置いてある植物に止まらせました。雨が降ったりやんだりの空模様でしたが、その後しばらくして、飛んでいきました。ナガサキアゲハのメスだったようです。

それにしても、チョウの羽化のタイミングは、その時の天候とは関係ないのでしょうか？　生きものは絶妙なタイミングとバランスの中で、命をつないでいるのだろうなあなどと思わせられる出会いでした。＜さんじゃく＞



p.1 からの続き　　3.　参考文献およびウェブサイトへのリンク　　自然観察会の実施において有益な情報

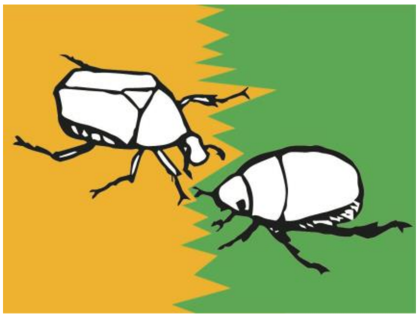
(1) コロナについての基礎知識と、各事業者で講じられるべき感染予防対策
　厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策の基礎的対処方針」ほか
(2) クラスター発生時の対応を含めた、野外ボランティア活動における感染予防対策について
　公益社団法人国土緑化推進機構「感染者が発生した時の対応と活動継続のガイドライン」
(3) 熱中症対策とマスクの脱着について　　厚生労働省の熱中症予防行動
(4) 幼児へのコロナの影響と感染予防対策　保育現場でのコロナウイルス対策ガイドブック
(5) 屋内でのイベントにおける感染予防対策について

このガイドライン、必要な会員は、事務局田村まで、お知らせください。Pdf 版をメールでお送りします。

会員からの投稿　「カナブン？コガネムシ？どっち調査」　志賀壮史

詳しくない人にはごっちゃにされることもあるカナブンとコガネムシ。
実はいろんな種類があって、生き様も様々だよ～！ということをお伝えしたくて表題の調査を企画しました。

身近で見つけたカナブンやコガネムシの仲間を写真に撮ってメールや SNS でお知らせください（８月末日まで)。
９月には投稿結果をまとめてレポートを作成します。お楽しみに！
投稿先：メール　fuku.kogane@gmail.com
フェイスブックやツイッター　ハッシュタグ「#カナブンコガネムシ」をつけて投稿。
主催：福岡市保健環境学習室まもるーむ福岡
企画：NPO 法人グリーンシティ福岡
～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～



編集の担当（田村）からのお知らせ

この会報ｐ３の２０２０年７月の**「私のデジカメ日誌より」**左側中段の画像を「オオバナミガタエダシャク」と思うが、・・・と表現。校正をお願いした会員から、「ヨモギエダシャク」ではとの意見がありました。会員の皆さん、検索して比較して見てください。

◆◆◆◆**事務局からのお知らせ**◆◆◆

会費振込について

会計年度は６月から翌年５月末までです。会員の皆様、２０２０年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費：2000 円　　郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

定例会に参加してみませんか？

次回の定例会は、**令和２年９月１１日（金）午後２時**より事務局で行います。令和２年９月号の原稿は、9/8（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

◆◆

編集後記　2020 年７月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作がそれぞれの自宅で作業した。

梅雨明けが 7/30 でした。この日は特に暑かった。月１回の能古島散策で島内を歩いた。この時に、いつものようにため池を観察した。サシバの声で、杉の天辺に止まっている姿を見かけた。池のそばではアオサギが止まっていた。水辺には数種類のトンボを見かけ、撮影した。その中の１種がハネビロトンボでした。初めて見かけた種でした。

南方系の種とのことでした。春日公園で初めて見かけたベニトンボ、住まいの近くのため池で初めて見かけたアオビタイトンボも南方系のトンボということです。リュウキュウサンショウクイという野鳥もその分布域を北に広げています。

気温等の自然環境の変化に合わせて、見かける種類が変化しているのでしょうか。

能古島のため池で見かけたハネビロトンボ♂
撮影：7/30　田村耕作